

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和4年度 第8号 R4.8.29(月)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「少年易老学難成 一寸光陰不可輕」

今年度初めてのリモート集会となった1学期の最終日、生徒会のメンバーは、慣れないながらもうまく集会を運んでくれました。終業式では、「長いと思っている夏休みも、あっという間に時が過ぎ、いつのまにか終わってしまう。だから、わずかな時間でも無駄にしてはならない。」という内容を「少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず」の詩を引用して話しました。生徒たちは充実した夏休みを終え、今日から2学期です。皆さま、引き続き三中をお支えくださいますようよろしくお願いいたします。

「熱中症対策」

地球温暖化が年々進み、全国各地で異常気象がみられるようになりました。特に今年の夏はとても暑さが厳しかったですね。三中では今年度熱中症防止対策として、校舎と運動場の境の部分に屋外ミスト装置を設置しました。風がないと地面が濡れてしまうのが難点ですが、打ち水効果で少しでも涼しく過ごすことが出来たのではないかと思います。また、昨年度からお茶・水の他にスポーツドリンクの持ち込みを許可し、万が一水筒が空になってしまっても補充できるように、校内に「麦茶・緑茶・水・スポーツドリンクの自動販売機」を設置しています。さらに各教室だけでなく、体育館でもエアコンが稼働しています。

熱中症予防には睡眠や食事を充分取り、体力をつけておくことや、感染防止対策をしながら、暑いときはマスクを外すなど、各個人で出来ることも多いです。このように工夫をしながら元気に残暑を乗り切りたいものです。

「夏の収穫」

中学校では夏休みといえども、補習や部活動などで登校しているので、土日も含めて学校に生徒が一人も来ない日はお盆の閉庁日4日間ぐらいです。

学習をするために来ていた生徒は夏休みの宿題が確実に進んだようです。

各部活動の生徒は本当によく練習していました。そして、運動部は大会が、吹奏楽部はコンクールが催されました。日頃の頑張りの成果は出たでしょうか。このように若いうちから試合やコンクールの緊張感を味わうことはとても大事です。これから社会に出ても、覚悟を決めてやらなければならない場面が必ずあるからです。だから結果がどうであれ、自分の力を試すチャンスは何度あってもいいと思います。

始業式でたくさんの表彰をしました。大会で「やりきった」と思えたり、勝ち残ったりする人は、間違いなく「努力をしてきた人」です。しかし、多くは「一生懸命頑張ったけれどいい結果が残せなかった」という苦い経験をします。でも私はそれでもいいと思います。納得いかなければ次はどうすればいいのかを考えれば良いのです。人生に必要な「粘り強さ」はそうやって育まれます。これはとても価値の高い経験です。

この夏 ECO 部は部員の発案で通学路の公園の清掃ボランティアに出かけました。そしてたまたまその様子を見て感動してくださった地域の方からの取材を受けました。ECO 部のメンバーは今までになかったことを企画し、行動に移し、地域貢献し、見ず知らずの方に認めていただくという貴重な経験をしたといえます。

学期が始まったら、今度は生徒会や委員会でも「自分たちの力で何が出来るか」を考えてくれるかもしれません。

一人ひとりにとって、今しか出来ない素晴らしい夏の収穫があったようです。